

4 家庭学習の質を高める

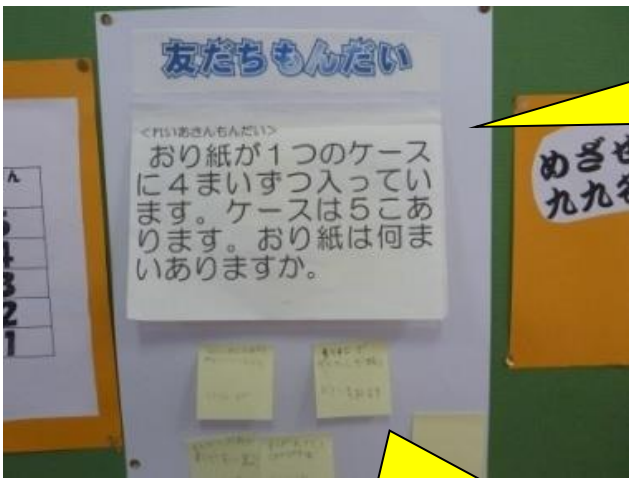
＜テーマ＞授業と家庭学習を連動させるための取組（気仙沼市立気仙沼小学校）

【取組の概要】

単元の指導と評価の計画に「家庭学習との連動」の項目を位置付け、単元のねらい達成のために必要な知識・技能の習得と活用を教師が見通しを持って与えていくようにする。

【指導と評価の計画の例】

次	主な学習活動	時間	評価規準	家庭学習との連動
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>問題の場面をテープ図や口を用いた式に表して、数量の関係を捉える。</li> <li>加法逆の減法（未知数が後で出てくる）の問題場面であることを捉え、問題を解決する。</li> </ul>	1	<p>【技】 場面を表したテープ図を基に、加法逆の減法の問題を解決することができる。</p> <p>【考】 問題場면을捉え、自分が書いた式の意味を友達や教師に伝えることができる。</p>	<p>「みやぎ単元問題ライブラリー」ステップ問題を解く。</p> <p>「みやぎ単元問題ライブラリー」を積極的に活用する。</p>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>問題の場面をテープ図や口を用いた式に表して、数量の関係を捉える。</li> <li>減法逆の加法（未知数が先に出てくる）の問題場面であることを捉え、問題を解決する。</li> </ul>	1	<p>【技】 場面を表したテープ図を基に、減法逆の加法の問題を解決することができる。</p> <p>【考】 問題場면을捉え、図と式を関連付けて友達や教師に説明することができる。</p>	<p>減法逆の加法テープ図を用いた問題づくりをする。</p> <p>児童が作った問題を次時で扱って短時間で前時の復習をする</p>



児童が家庭学習で考えてきた問題は「算数コーナー」と共に教室内に掲示する。または授業の導入時に活用し、他の児童にも問題づくりへの意欲を持たせるようにする。

掲示した「友だち問題」は休み時間に自由に解かせるようにし、児童は式や答えを付箋で貼っていく。問題文のよさや工夫等についても感想を記入させるようにする。

【取組の成果】

- 授業で分からなかったことを家庭で家族と一緒に復習してくる児童が増えた。
- 自分が考えた問題が全体の学びの中で生かされるということが、家庭での主体的な学びにつながった。
- 考えたことを基にして、休み時間であっても対話的に学ぶ児童が増えた。